



すみりんニュース

Vol.
104

編集・発行：公益財団法人 住吉隣保事業推進協会
編集発行人：理事長 友永 健三

公益財団法人 住吉隣保事業推進協会 〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東5-6-15
TEL (06) 6674-3732 FAX (06) 6674-3700 <http://www.sumiyoshi.or.jp>



2025年6月11日 矢野宏さん講演のようす



今号は 2025年6月11日に開催した、住吉・住之江同和教育推進協議会 全体研修会の報告を掲載しています。矢野宏さんを講師としてお招きし、「戦後80年を戦前にしないために私たちができること～沖縄戦と南西シフト」と題してお話していただきました。当日の参加者は、320人でした。



- 住吉・住之江同和教育推進協議会 全体研修会
「戦後80年を戦前にしないために 私たちができること」～沖縄戦と南西シフト
講師：矢野宏さん（新聞うずみ火 代表取締役）………1-9
- けんどうの視点 住吉地区の人権のまちづくり大きな節目をまえにふりかえる
友永健三（公益財団法人住吉隣保事業推進協会理事長）…10-11
- 住吉隣保事業推進協会のうごき………12

住吉・住之江同和教育推進協議会 全体研修会
戦後80年を戦前にしないために 私たちができること
～沖縄戦と南西シフト

講師：矢野宏さん（新聞うずみ火 代表取締役）

■ 沖縄慰霊の日

6月23日は何の日でしょう。わたしは、必ずこの日

に沖縄へ行きます。365日のうちこの日だけ沖縄の顔が変わる日です。沖縄慰霊の日。この日は、沖縄は

学校も休みです。沖縄慰霊の日って何かというと、組織的な戦闘が終わった日とされています。組織的な戦闘って何？——沖縄を守っていた第32軍の司令官が自決した日と言われています。当時、第32軍、その下には師団、そして連隊があります。このなかでは、軍が一番大きい組織ですが、沖縄を守っていた第32軍の司令官が自決した日です。それはだれか——牛島中将です。牛島満さんが1945年6月23日に自決したと言われています。しかし、この人がこういう遺言を残しています。「最後まで敢闘し、悠久の大義に生くべし」つまり、降伏せずに死ぬまで戦えという遺言を残した。

■沖縄戦が正式に終わった日…

正式に終わったのはいつなのか。8月15日ではありません。6月23日でもない。沖縄戦が正式に終わったのは9月7日です。この日まで戦わされた。だから、たくさんの人が死んだ。あわせて20万人を超えています。そのうち日本人が18万8千人、沖縄県出身者が12万2千人です。民間人が9万4千人。つまり死んだ日本人の半分は民間人だった。これが地上戦の恐ろしさ、沖縄戦の大きな特徴です。

平和の礎には、亡くなった20万人の名前が刻まれています。わたしたちが住むこの大阪出身の方、兵士の名前も刻まれています。まだ2700体余りの遺骨が返っていません。この遺骨が南部の土の下で埋まっています。わかっているだけで2700体です。ひょっとすると、もっと多い。だって一家全滅があるから。その遺骨が返っていない。その人たちにとっては、ここがお墓なんです。

■沖縄戦までの主なながれ

沖縄戦までの簡単にながれをふりかえります。1944年の3月に第32軍が配備されました。この日、この時まで沖縄は、こんな大きな兵隊、組織が常駐することはなかった。だから、住民は、自分たちを守ってくれると思った。軍はどういうことをしたかという、住民を動員して飛行場を作らせたり、陣地壕を作ら

せたりしました。有名なのは首里城の下です。司令部壕を作らせました。そして7月にサイパン島が陥落します。アメリカ軍の手に落ちます。その後、東京の中央政府を大本営といいます。大本営は、戦争の継続の目的を、「国体護持」、つまり天皇制を守ることになり切り替えました。

いずれ来るであろう本土決戦。最後まで降伏することとは許しませんから、本土決戦の準備にかかる。このサイパンが落ちたということは、どういうことか。これが飛んできたんですよ。超・空の要塞、空の要塞を超えた、当時の世界最大の爆撃機といわれているB29です。全長が30メートルです。25メートルプールよりも5メートル長い。そして翼から翼が43メートル。高度1万メートルで安定飛行ができる。この地上が、気圧を1とすれば、1万メートルは4分の1になります。たちまち鼓膜が破れる、息ができない。そんな1万メートル上空で温度を一定に保ち、そして気圧も一定に保つ、そんな爆撃機があった。荷物を積む量が9トン。荷物というのは、兵器です、人を殺す兵器です。このときの日本の最大の爆撃機が一式陸上攻撃機といって、山本五十六連合艦隊司令長官が最後に乗っていた爆撃機です。それが0.8トン。つまり、当時の日本最大の爆撃機10機分なんです。そして、航続距離が5230キロ、1回ガソリンを入れて飛べる距離が5230キロ。サイパンから日本本土までが2400キロ。行って爆弾を落ととして帰って来られる。ですから、日本の都市はことごとくこの空襲にあいました。大阪も50回以上の空襲がありました。そして、1万5千人が亡くなったといわれています。

■対馬丸事件

1944年7月、沖縄本島と宮古島、八重山諸島から九州と台湾に10万人を疎開させる計画が発表されました。当時台湾は植民地でした。なかには犬を飼っている子もいたでしょう。猫を飼っていた女の子もいたかもしれない。何よりも牛や豚、それを飼って生活している人もいたはず。つまり、生活なんか関係ない。とにかく邪魔だからどけて言う。そして悲劇が生

まれました。8月です。学童疎開船の対馬丸が沈められた。1788人が乗っていて、1484人が亡くなったとされています。そしてそのうちの児童が784人。生き残ったのは約280人と言われています。

わたしは対馬丸記念館でいろいろお話を聞きました。59人の小学生が生き残ったと聞きました。生き残った人たちは「それで良かったね」じゃない。余計に苦しめられる。箆口令です。つまりしゃべるなど言われた。「しゃべったら逮捕するぞ」って言われた。「お前だけじゃないんだ、お前の父ちゃん母ちゃんも捕まる」と、脅された。沖縄に帰って、友だちのお母ちゃんが「うちのヨシコが帰ってこないんだけど、あんた何か知ってる?」、「うちのヒロシが帰ってこないけど、どうなったんだろう?」って聞かれる。しかし、生き残った59人は何もしゃべることができない。だって、自分がしゃべったら自分も父ちゃん母ちゃんも捕まるから。そんな箆口令を敷かれました。対馬丸は、8月21日、沖縄を出航し、奄美大島を越えて、8月22日の午後9時、子どもたちが寝ているときに、米軍の潜水艦から魚雷が発射されて沈められた。阿鼻叫喚の世界だったそうです。

■持久戦へ

そして10・10空襲です。10月10日、これはわたしたち日本本土よりも先に民間人を含めた無差別爆撃です。那覇のまちの9割が焼けました。そして11月、第32軍の下にいくつかの師団がありますが、当時最強といわれた第9師団、これは金沢を中心とした師団ですが、これが引き抜かれて台湾に行かれます。つまり、第32軍の兵力がどっと落ちるわけです。そこで第32軍は作戦を変更します。水際、つまり米軍が地上に上り陸するところを狙うんですが、そこが一番危ない。だからそれをやろうとした。しかし、兵力が足りない。だからなかにおびき寄せて撃っていく、持久戦に切り替えます。兵力が足りないから1945年2月、第32軍は根こそぎ動員をします。つまり、男子は14歳から45歳まで。でも、45歳というのは嘘ですよ、60歳の人たちも連れで行かれています。女性は15歳から40歳、女性も同様です。女性は兵士になれませんか、兵士を助ける軍

属です。わたしはそれを調べながら思いました。いま、ウクライナもこれです。ウクライナの男性は18歳から60歳までは、国から出てはダメなんです。なぜ?——兵士にさせられる。だから、一家バラバラです。

■続く戦争

去年、ピースアイチというところがあるんですが、そこでウクライナの子どもの絵を展示しました。わたしも招かれて行きました。そのなかで一枚をご紹介します。ちよっと白黒で、見えづらいですが。おそらくこの子どもを言い聞かせているのがお父さんじゃないかなと。兵士が早く乗れって言ってるような感じがしますよね。まわりのアパートか、マンションの窓ガラスは全部割れて、壁もぐちゃぐちゃ。これがウクライナの子どもの描いた絵です。アンドリクンという13歳の子が描いた。この絵のタイトルは「避難」とこの少年はつけています。そして、この手紙を添えています。「戦争は、人びとから家や充実した生活を奪う悪です。わたしの現実是不安であり、学習や人生を最大限に生きる楽しみの瞬間を奪います」という手紙を添えています。1945年3月23日、もう80年前のことですが、同じようなことがウクライナでもいま行われているということです。

■米軍が上陸のための空襲、艦砲射撃開始

80年前3月23日、沖縄のまわりは米軍の艦船がやってきました。そして、艦砲射撃がはじまりました。4月1日に沖縄本島に上陸しています。沖縄戦が始まったのは3月26日。慶良間諸島は、那覇からだいたい高速度で1時間弱です。ここは実は特攻の基地にされていた。特攻といっても、海の特攻。マルレ。マルレのレは、連絡艇のレ。それをマルレ(㊦)と海軍・陸軍では呼んでいた。使われていたのは、ベニヤ板で作った船。モーターボードみたいですがベニヤ板で作られ、エンジン自動車は自動車のエンジン。これに250キロ爆弾を積んで、体当たりする。米軍はそれを察知していたから、この慶良間諸島をまず攻撃しました。そこで何が起きたのか。強制集団死、集団自決です。わかっているだけで569人が集まっています。なぜか——当時は、軍

民強制共死、つまり兵士と民間人は、死ぬも生きるも
一体だという方針が打ち出されていた。そして、兵士に
だけ言われていたはずの、「生きて虜囚の辱めを受
けず」という戦陣訓は、民間人にも強いられた。手榴弾
を各々持たされた。手榴弾をもったお父さんを囲んで、
一家7人8人。お父さんがその信管を抜いて、ドン!って
いきます。しかしなかには不発弾が多かったそうです。
不発弾を持ってしまった一家は、「ああ良かったね」じゃ
ないです。かえってパニックになるんです。だってまわり
は死んでいるから。だからお父さんは、棒切れを持って
お母さんを打ちのめします。そして、カマを子どもたち
の首にあてる。カミソリも。そうやって、ある意味殺され
ていったんです。それは、4月1日に沖縄本島に入ると、
沖縄でもそうでした。読谷村のチビチリガマでは、83
人の方がそういう死方をしています。

なんで?——こんな教え方をされてたんですよ、米
軍の捕虜になると、女は暴行を受ける。子どもは股裂
きにされ、男は戦車の下敷きにされる。こういうことが
教えられてきた。読谷村から嘉手納に渡るところ、ここ
から米軍は、上陸しました。去年、わたしが行ったところ
です。潮が引いたところでは入ってきたそうです。

兵力の差は、米軍は55万人、日本は10万人。しか
も、3分の1が現地です。現地で招集している。学徒
隊もいた。去年、いろいろフィールドワークしました。第
32軍がどういう守り方をしてきたのか、激戦地はどこ
だったのか習ってきました。現地を訪れました。第1防
衛線、第2防衛線、第3防衛線、そして32軍司令部、そ
こが首里城です。このなかで最も激戦地だったのが、
前田高地。浦添城跡ですが、恐らく前田高地だってわ
からないと思います。しかし、ここはアメリカの映画にな
っています。タイトルは、『ハクソー・リッジ』ノコギリの崖
です。これは実話です。衛生兵、看護師デズモンド・T・
ドスは、宗教上の理由から銃を触ることができなか
った。つまり、あの映画でいうと、5歳のときに弟を殺
しそうになるんです。それで、すごいトラウマになって人
を殺してはいけないうんだって、自分で言い聞かせる。そ
して軍隊に入ります。軍隊に入るけれども、銃を持てな

いから、「何しに来たんだ」と軍法会議にもかけられる
し、仲間たちにもいじめられます。「ただ、わたしは人を
殺せないだけなんです」と言って、従軍するのが沖縄
です。沖縄に行きつてどういうことをしたか。銃を持たず
に、大けがを負ったアメリカ兵を一人ひとり助けていく。
この映画のキャッチコピーがここに書いてあります。
世界一の臆病者が英雄になった理由と書いてありま
す。この後、デズモンド・T・ドスは、名誉勲章を送られま
す。「お前は臆病者」だったののしられたデズモンド・
T・ドスが名誉勲章。これは本当にいろんなことをわた
したちに考えさせてくれる映画ではあります。

もう32軍も追い詰められます。首里城に明日にも
来るでというとき、5月22日に、司令官はじめ会議をし
たそうです。選択肢は3つ。首里城で玉砕、全員死ぬ
んだというもの。2つ目が、知念半島。みなさんから見
て右側。5つ目が喜屋武半島、南部です。そのうちの
南部撤退、喜屋武半島に行きます。

なぜ?——自然壕がたくさんあったから。
なんで?——少しでも長く、アメリカ軍を沖縄に足
止めさせて、本土決戦を遅らせる時間稼ぎの持久戦
を選んだからです。実は、このときに大本営から連絡
がきていたそうです、もう少し長引かせると。松代大本
営がまだできていない。だからもう少し時間を稼げ。そ
れで、住民たちは犠牲になった。みなさんもご存知だ
と思いますが、首里からたくさん逃げてきた住民がい
ました。戦争を避けるために壕に隠れていた住民を日
本兵は追い出して、食料を奪った。スパイだと決めつ
けて殺しました。住民の犠牲を大きくしました。

子どもたちが沖縄戦に動員

当時の中学生も動員されました。小学校を卒業す
ると2年間の高等科へ行くか、お金持ちで成績が良け
れば男子は中学校、女子は高等女学校、専門的な商
業学校とか工業学校に行った。だいたい5年です。い
まの中1から高校2年生です。この子どもたちが沖縄
戦に動員されたんです。

わたしは毎年、県立第一中学校、いまの首里高校
に行きます。慰霊祭が毎年行われています。一中健

見え塔には、290人の犠牲者の名前が刻まれています。14歳の男の子がどんなことさせられたのか——3年生以上は鉄血勤皇隊で軍隊です。そして、1、2年生は通信隊といって、これも軍隊です。一中の生き残りの人に聞くと、一中だけ遺書を書かされた。「その人は何を書いたんですか」といったら、「短い一生でしたが、お世話になりました、元気にやってください」という遺書を書きましたと言われていました。中1ですよ、中1の14歳の男の子が遺書ですよ。遺書を書かされた。鉄血勤皇隊3年生以上は何をさせられるのか——砲弾が飛びかうなか、伝令に走ります。そして切り込み。アメリカ軍がマシンガンでダダダタッと撃っているなかを、刀を抜いて切り込みに行く。そして箱に火薬を詰めて、アメリカ軍の戦車の下に潜って火をつける、こんなことをさせられた。

290人の遺影が飾られています。なかには写真がもうないという方もいらっしゃいました。子どもたちが沖縄戦に動員された。女子生徒も看護補助員として野戦病院に送られました。

冒頭にひめゆりの話をしましたがひめゆりだけではありません。8つありました。ひめゆりが一番有名ですけれども、同じような仕事、最前線の野戦病院でさせられていたんです。師範学校の女子部と第一高等女学校はひめゆり部隊。そして、わたしが毎年お参りに行くのは第二高等女学校、白梅学徒隊、第三高等女学校などの、なごらん学徒隊など8つあります。ひめゆりだけが特別ではありません。同じ悲惨な目に遭っています。

■沖縄戦の概要と『きくさんの沖縄戦』

なぜわたしが白梅学徒隊を取材させていただいているかについてお話しします。中山きくさんは、2023年にお亡くなりになりました。白梅学徒隊の生き残りの方と二十年来のお付き合いをさせていただいています。久しぶりにもらった絵本（白梅学徒隊『きくさんの沖縄戦』文：比嘉美津枝/絵：磯崎主佳/沖縄県退職教

職員会女性部 発行（平和を語りつぐ会）を開いたんです。その扉にこんなことを書いてくれました。「命どう宝、平和が一番です。白梅への心遣いに感謝しております。中山きく」2013年6月16日の消印があります。子どもたちにわかりやすい絵本を作って、それを送ってくれた。これが『きくさんの沖縄戦』です。



1945年3月6日、県立二高等女学校4年生、いまの高校2年生46人が看護隊に入隊します。入隊ですよ、部隊に入ります。そして、彼女たちは、きくさんはじめお国のために働けると喜んで、神風が吹いたら日本は絶対負けないと信じていた。3月6日に入って第24師団、看護師としての教育を受けます。3週間も経たずに、最前線に送られる。八重瀬岳の野戦病院。野戦病院ですよ、ビルが建っているわけじゃない。洞穴のなかです。ここに摩文仁がいます。これが糸満市があり、その隣に八重瀬町があります。

しらゆり学徒隊の碑が建っています。このなかです。このなかに木で作った二段ベッドが並べられて、だいたい500人だそうです、傷ついた兵士500人。みなさんだったら、この二段ベッド、下を選びますか、上を選びますか。おととい名古屋で話すことがあって、どっちを選ぶか子どもたちに聞いたら、「下がいい、自由に動けるから」と言いました。けれども、下って大変です。というのも、ほとんど兵士は動けないので、うちも少しも垂れ流し。だから、下にいたら大変なんです。そんな状況がこの野戦病院のなかで繰り返される。

きくさんたち少女たちを待っていたのは、食事の運搬、砲弾が飛び交うなかですよ。水くみ、重症患者の排泄、膿と血と汚物の匂いが立ち込めていた。髪の毛にもシラミがいて、かゆくてたまらない。やがて薬も包帯もなくなり、治療もできない。朝から晩まで「学生さ

ん」とか呼ばれる。「うんちがしたい」とか、「おしっこの
びんも き はん げん
ビン持って来て」「ご飯まだか」とか言われるそうです。
しゅじゅつ でん き てんとう
手術は、電気ありませんから、電灯なんかありません。
ろうそくですから、部位の手元を照らす。麻酔もない。
がっ がっ おきなわ あつ きずぐち
5月、6月の沖縄は、すごく暑いから傷口からうじが
で しんぞう はい いのち
が出てくる。それが、心臓に入っていくと、命とりになる
から、手や足を切り落とさなければいけない。麻酔なし、
ぎ て あし き お ますい
ノコギリで手や足を切り落とす。のこ切りですから大暴
れするそうです。その兵士を抑える、ろうそくで、部位の
てもと て じょうたい た ぐん い
手元を照らし、ふらふら状態で立っていたら、軍医に
け き と て あし おも
蹴とばされる。切り取った手や足って、すごい重たいそ
うです。それを、攻撃のあいまに、捨てる。唯一の楽しみ
しよくじ さいしょ て に す ぼ ー
は食事だった。最初のうちは、テニスボールぐらいのお
にあさゆう かい ちい びん
にぎりぎりが、朝夕2回。それがだんだん小さくなって、ピン
ぼん だま
ポン玉ぐらいのおにぎりか1日1個になった。

しかし、この 6月4日、「はい解散」って言われるまで、
だれひとり し にん だれひとり し
誰一人死んでいない。46人のうち、誰一人死んでい
ない。ここからなんです。「解散、病院解散します。はい、
す かいさん びょういんかいさん
好きにどこでも行っていいよ」って言われた。この子ら
は、那覇の子、八重瀬岳で、「はい解散」って言われて、
かえ
どうやって、帰るんですか。

びょういんちよう はなし のこ
病院長がどんな話をしたか残っていました。「もは
びょういんかんり じょうたい べいぐん すうじつ ご
や病院管理ができる状態ではない。米軍は数日後
にはここまで来る。衛生兵、動ける患者は、敵陣に突
にゆう がくとたい きよう はたら
入する。学徒隊は、いままで、今日までよく働いてくれ
た。国家に代わって礼を言う」と言ったんですが、ここ
うご かんじゃ
で動ける患者はってあたまについています。動けない
ひと ころ まえ
人はどうするんですか、殺されたんです。「お前たち
まくらもと せいさんかり お がくとたい い
枕元に青酸カリを置いてこい」って学徒隊は言われた。
やくわり かのじよ せんじょう お さ
そういう役割もさせられた。彼女たちは戦場に置き去
りにされたんです。

あめりかぐん ぐんかん ほうげき ようしゃ う こ
アメリカ軍の軍艦から砲撃が、もう容赦なく打ち込
まれています。戦車とか、最新鋭の兵器も、米軍は作り
てつ ぼうふう じごく あつ おきなわせん
ました。鉄の暴風、ありったけの地獄を集めた沖縄戦。
にん ち ち なんぶ こうぶく
46人は散り散りになって南部をさまよいます。降伏す
ゆる かいさん なに わた
ることは許されません。解散するときに何を渡されたか。

しゅりゅうだん みずか いのち た こ びょういんちよう
手榴弾です。自ら命を絶つ子もいました。病院長と
めぐ あ にん どうきゅうなま めぐ
巡り会った 6人。きくさんの同級生がたまたまここで巡
あ かい や せんびょういんつく
り会った。じゃあここでもう一回野戦病院作ろうという
ことで、野戦病院をやり始めた。傷ついた兵士を迎え
い あめりかぐん き て たす
入れた。そこにアメリカ軍が来た。「出てこい。助けてや
るから出てこい」って言われたけれども、隣には兵士
がいて、病院長もいる。自分たちも降伏してはいけな
いという教育を受けている。出ていかなかったらあめり
かぐん が そりん なが こ ばくだん な こ
カ軍はガソリンを流し込んだ。そして爆弾を投げ込
だ。非常に苦しいですよ。だから手榴弾で自爆したん
です。6人が。きくさんは、まわりは死体の山、昼間は
こうげき よる に だ ぼけっと
攻撃があるから夜になって逃げ出す。たまたまポケット
のなかに黒砂糖があったから、それをちびちびかじり
ながら…、サトウキビが焼けたその後、根っこが残って
いるから食べた。畑や道路が真っ黒に焼けた死体が
ころ ころ つ みなみ
転がっていった。もうどんどん追い詰められます。南へ、
なん ぶ かいがん はだし に
南部へむかいます。こんな海岸を裸足で逃げるんです
よ。もうダメだ、追い詰められた。きくさんの手には
しゅりゅうだん にぎ いっしょ に しんゆう
手榴弾が握られています。一緒に逃げていた親友の
ちよ だめ ちよ いっしょ し
チヨちゃん。「もうダメだ。チヨちゃん一緒に死のうって。
じけつ い ちよ ちよ い
自決しよ」って言ったんです。するとチヨちゃんがこう言
ったんです。「自決は絶対いや。お母ちゃんに会いたい」
って。きくさんの手から手榴弾がポロッと落ちた。それ
たす しょうじょ こわ おも い し
で助かった。少女が、そんな怖い思いを、生きるか死ぬ
か。あともしチヨちゃんがいなかったら死んでいた。これ
しらうめ ひと にん ふく じょうきゅうせい かきゅう
が白梅の人ですけれども、22人を含む上級生や下級
せい せんせい にん おきなわせん な ひと いれい
生、先生たち。147人、沖縄戦で亡くなった人の慰霊
とう しらうめ の どう つく
の塔『白梅之塔』を作りました。

おきなわせん つづ ■沖縄戦はずっと続く

せん ご おきなわ おきなわせん つづ
戦後、沖縄ですが、沖縄戦はずっと続いています 9
がっ にち ほんど がっ にち せんそう お
月7日までね。この本土では 8月14日、戦争終わしま
した。「あれ？本土決戦にどこ行ったの？」って。もう8月
にち せんそう お ねん がっ しょうわたんのう
15日には戦争終わった。1945年の 9月に昭和天皇
めっ せ ー じ で おきなわけん こうぶんしよかん ほんかん
がメッセージを出します。沖縄県の公文書館に保管さ
れてます。沖縄の米軍占領は日本に主権を残した形

で、長期の 25年から 50年ないし、それ以上貸与する
っていうメッセージを出しています。つまり、47年の 9月
に昭和天皇は沖縄を売り渡している。その後、51年の
サンフランシスコ講和条約を結んだ。同時に日米
安保条約を結んだ。52年4月28日、日本は独立。
本土は独立しました。しかし、沖縄はそのまま米軍の
占領下、統治下に置かれた。だから、この 4月28日を
沖縄の人は屈辱の日と言う。

沖縄が本土に復帰するのは 1972年5月15日。それ
まで米軍の支配下にあった。どんなことをされたの
か。銃剣を突きつけられて、ブルドーザーで基地を作
られた。特に、この土地収用令という、米軍が出した法
律。1953年4月。30日以内に契約しなければ、強制
的に土地を取り上げるということをしています。米軍に
奪われた土地は、この 20年間の 72年までですよ、沖
縄本島だけで、12.34%。いま、15%です。この米軍統
治下にあるときに、5万世帯、23万人が土地を奪われ
たから、路頭に迷うことになった。県民の半分くらいは、
路頭に迷った。米軍の統治下によって米軍の基地で
働くしかなかった。

先日、有名な俳優さんがこう言ったそうです。「基地
があるから、生きてこれた人もいる。ただの憎しみだけ
じゃないと思う。アメリカがいるからこそ、生きられた人
もいると思う」と。これが実情です。そして、もう一つ付
け加えておくと、基地の関連収入は、沖縄県民の所
得の 5%しかない。その基地が返ってきたところがあり
ます。その跡地利用の開発の方が経済効果は大きい。
だから、その俳優さん、はっきり言って勉強不足だと思
います。これが実情です。

さらに、本土復帰から今年は 53年を迎えましたが、
沖縄は、日本の 0.6%しかない面積。そこに 70%の
米軍専用施設が集中している。さらに思いやり予算
が 5100億円。わたしたちの税金です。日米地位協
定では、米兵が沖縄で沖縄人を殺しても、公務中な
ら逮捕できない。公務中以外で飲んでいるときに刺し
たら、基地に逃げ込めば、裁判が始まるまで、起訴さ

れるまで、身柄を抑えることはできない。日本の警察も
検察も。だから、知らぬ間に高飛びするんでしょ。こうい
う不平等条約がいまも沖縄では押し付けられている。
辺野古もです。大浦湾はだいたい埋まりました。軟
弱地盤があります、大浦湾の方がね。なんで辺野古
だったのか。95年、阪神淡路大震災の年に、小学校6
年生の女の子が米軍3人に強姦された。それで、沖
縄の人たちは怒った。「これは米軍基地があるからだ」
「米軍基地をもうなくせ!」って大きな声を上げた。じゃ
あ、普天間基地を返しましよという事になった。宜野
湾市の4分の1、しかも中心。なんでこんな危険なところ
にいっぱい住んでるのじゃないんですよ。元々自分
たちの土地だった。それを銃剣とブルドーザーで奪わ
れた。だから行くところないから、基地のまわりにへばり
つけるように住まざるを得ない。沖縄国際大学にへり
が落ちた 2004年。そこに日本の警察は入れなかった。
普天間基地のかわりの基地を作りなさい。じゃあ、
辺野古に作りますとなった。しかし、軟弱地盤が見つ
かった。マヨネーズ状です。夢洲と一緒に。どんなに
土砂を入れても、絶対沈む。だから、砂の杭を作らなけ
ればいけない。その数7万1千本。これ、1本1億近くか
かるんです。これだけで 7兆円です。こういうパイプを
つく、砂を入れていく、そして抜いて固めていく。これを
7万1千本、あの辺野古でやらないといけな。しかも、
日本の技術では 70メートルまでしかできない。あの
辺野古の軟弱地盤は、一番深いところで 90メートル
です。何年かかるかわからない。いま、防衛相は 12年
って言っていますけれども、それまで普天間は返されな
い。いま、予算はこういうことになっていますけれども、
最初、3500億円、軟弱地盤が見つかってこんなにい
っています。いま、南側の埋まっているだけで 16%、あ
と 84%作らないといけな。もう 4300億かか
てますから、沖縄の資産は 2.6兆円。それだけではあ
りません。砂の杭が 1本1億円とすれば 7兆円。それも
わたしたちの税金です。人を殺す基地をわたしたちの
税金を、しばらくって作っているわけです。

この国は、ほんとうにこの 10年で、国は形を変え
れました。特に 2015年の安全保障関連法、これで
集団的自衛権の行使が容認された。そして 22年の
安保三文書で、敵基地攻撃能力を持つことを許され
た。防衛費43兆円、5年間で 43兆円、これ簡単に言
うと、倍になるということです。いま、5年間で 43兆円
ですから。いま、イギリスとイタリアと 3国で、戦闘機を
日本は開発しています。

歴代政権による武力化が行われているということ
です。集団的自衛権の行使というのはこういうこと
です。いままでだったら個別的自衛権、つまり、やられたら
やり返すよということ。しかし、やられてもないのに、わ
たしの友だちアメリカさんが攻撃されたから、自分へ
の攻撃とみなしてわたしも戦うよということです。これ、
65年から 75年のベトナム戦争のときにアメリカ軍が
言ってきました。ベトナム戦争に自衛隊出せ!って。だけ
ど、佐藤内閣は、日本は集団的自衛権を行使してい
ない、容認していないから、ダメだ!って言った。日本へ
の攻撃じゃないから断った。断れたんですよ。かわり
に韓国軍が行かされたんです。しかし、今回はもし何
があれば、あの大好き、アメリカが戦争大好きですか
ら、行かされますよ、完全に。

もう一つ、先ほど5年間で43兆円って言っています
が、要するにGDP2%になる。つまり、いまGDPは510
兆円ですから、その2%とすると、それは 11兆円にな
る、年間。いま、日本の軍事費、防衛費は、世界で 9番
目です。11兆円になったら、ロシアやインドをおい抜
いて 3番目になる。軍事大国になる。そして、敵基地攻
撃能力、反撃能力なんて言葉を濁していますが相手
の基地を直接攻撃することですよ。いままでだったら、
専守防衛。攻撃されたら攻撃する。しかし、攻撃されそ
うなら攻撃できる。これ、間違っていたらどうなんです
か。真珠湾みたいになりますよ、先制攻撃ということで、
国際法違反。こんな危険な綱渡りをしている。

■南西シフト

その最前線が沖縄を含む南西諸島です。2016年、
与那国から沖縄まで、どんどん自衛隊の基地がで
きました。最初は沿岸警備隊ですから、みなさんを守る
んですよって言ったんです。それが知らぬ間にミサイル
基地ができた。ミサイル部隊が配置された。奄美大島
には2つの基地があるんです。沖縄、そして宮古島、石
垣島、それぞれにミサイル部隊が置かれました。つぎ
与那国も置かれます。これが射程が150キロ。だから、
守るためだよなんて言っている。それが今度、1000
キロです。中国に届くんです。1000キロの射程を持
ったミサイル部隊が配備されています。平時みんな銃を
もっています。これが奄美大島。色が違うでしょ。奄美
大島は鹿児島。これが最後に石垣。綺麗なところでし
たけれども、ここにもミサイル部隊が置かれています。ト
ラックです。いま、ミサイル部隊は、きちんとした基地じゃ
ない。だって攻撃されるんだから。だから、移動しないと
いけない。撃ったら移動する。そこに敵のミサイルが飛
んでくる。そこに住民がいたらどうなるんですか。集落
が近かったらどうなるんですか。これが防衛省が利用
しているミサイル部隊。やられたらやり返されるんです
よ。いま何が起きているのか、びっくりしますよ。避難計
画ですよ。1944年の 7月に確かありましたよね。沖
縄本島と宮古、八重山の 10万人を疎開させるって。い
ま80年前と同じことがいまここで発信、話が出されて
まさに実行されようとしている。

去年の 6月に九州知事会があって、あの人たちが
どうする、受け入れるのがどこって九州と山口県が受
け入れるよ。ただし、飛行機や船舶で島を出ないとい
けない。飛行機だと手荷物10キロ。牛どうするんです
か、豚どうするんですか。滞在は 1ヶ月なんて言ってい
るけれども、もし戦争になれば 1ヶ月で帰ってこられる
わけがない。永遠に帰れないかもしれない。だから住
民説明会のときにこの男性が言いましたよ。「避難と
言うけれども、沖縄戦の疎開と何が違うんですか」と。
いま、沖縄本島をはじめ、南西諸島ではこういったこと
が行われています。南西諸島では台湾有事を前提と

せんそうじゅんび すす いじょうゆる おきなわ
した戦争準備が進んでいる。これ以上許せば沖縄は
ふたたび せんじょう
再び戦場になる。

■今日のガザは明日の沖縄

おきなわ でも きょう がざ あした
沖縄でこういうデモがある。「今日のガザは明日の
おきなわ きよねん いすらえる
沖縄」。去年になりますけれども、なんでイスラエルが
あそこまでひどいことができるんだろう。もとイスラエル
の兵士デニーさんと一緒に講演することがありました。
この人はもとパイロット。いま、日本の秩父で家具を作
っています。戦争反対という講演をされているんですが、
イスラエルの学校では、国のために死ぬのは素晴らしい
こと、国のために死ぬことは素晴らしいことだと教え
られていると言っていました。イスラエルでは小学生の
とき、必ずアウシュビッツに見学に行くそうです。そして、
悲劇を二度と起こさせないために軍勢力が必要だと
教える。そして兵士になったら、軍隊では敵は動物のよ
うなものなんだ、パレスチナ人を殺すのは仕方ないこと
だって教えられているんです。いま、本当にガザでわか
っているだけで 7万人、8万人、ひょっとすると 10万人
が死んでいる。いまも、こうしている間に死んでいるか
もしれない。そこに何があるのか。教育です。こういう
教育なんです。いまわたしたちのこの日本でも通じる
ところが何かあるんじゃないですか。こういう教え方、い
まされつつあるんじゃないでしょうか。この次にあるの
は戦争ですよ。

■きくさんの二つの宝物

さいご ふた たからもの しようかい おも
最後、きくさんの二つの宝物をご紹介しますと思
います。亡くなる 1年前に、お話をさせていただいて、94
歳になっていたんですけども、この方はなかなか自分
の体験を語れなかった。だって、同級生22人死んでい
るから、自分だけ生き残ってしまったという、自責の念
で、自分の体験を語られなかった。72年に広島や
長崎に行ったりして、原爆の被爆者たちが、それを語っ
ていることをきき、衝撃を受けたそうです。語らなけれ
ば、沖縄戦がなかったことにされてしまう。だから、自分

かた かた はじ
は語らなければと語り始めました。そして、わたしのよう
に、こうしてみなさんのように向かって、平和学習でお
話をされていた。子どもたちから感想が送られてくる。
それがきくさんにとっての一つの大きな宝物でした。

もう一つ、二つ目の宝物があります。お孫さんから
の手紙です。自分の娘さんの長男が結婚式をあげ
る。ふつう結婚式では最後にお母さんに花束贈呈って
ありますよね。そのお孫さんは、「おばあちゃん、ちょっと
来て!」と言って、おばあちゃんにそのお孫さんが手紙
を読んだ。「小さい頃は、沖縄戦のことをわかっていな
かったけれど、あれだけの状況を、おばあちゃんが生
き抜いていなければ、僕はここにいなかったし、こうして
結婚式をあげることもできなかった。おばあちゃんから
もらったこの命、ありがとう」という手紙を、きくさんに
読んだ。わたしはこれをきいて「きくさん、これが二つ目
の宝物だね」、なんて言いました。そのきくさんたち、あ
の沖縄戦を生き抜いた学徒たちが、当時の岸田内閣
に声明文を出しました。その声明文は、わたしたち一
人ひとりにも突きつけられる、と思って、最後にちょっと
紹介したいと思います。

せんそう うつく た いぎめいぶん かか せんそう
戦争をするには、美しい大義名文を掲げるが、戦争
には悪しかない。戦争ははじまってしまったら手がつけ
られない。犠牲になるのは一般の人びとだ。命を何よ
りも大切にすること、平和が一番大切だという、沖縄戦
の教訓を守ってもらいたい。

これはみなさん一人ひとりに届けたいなと思って、レ
ジューメにも書かせていただきました。

おきなわ ほんとう とお おきなわ
沖縄は本当に遠いところですけれども、いま沖縄で
何が起きているのか、そして 80年前、どんな目にあっ
たのか、沖縄を今度訪ねるときには少しでいいですか
ら、心に痛みを持ちながら行ってほしいなと思いが
ら、今日はお話をさせていただきました。この 6月23
日、わたしもまた沖縄に行きます。そして、またみなさん
に平和なメッセージをお届けできたなと思います。最
後までご清聴いただきまして、ありがとうございました。
(拍手)

れんさい
連載
Vol.19

けんぞうの視点



すみよし ちく じんけん 住吉地区の人権のまちづくり

おお ふしめ 大きな節目をまえにふりかえる

ともながけんぞう こうえきさいだんほうじんすみよしりん ぼ じ ぎょうすいしんきょうかい り じ ちょう
友永健三(公益財団法人住吉隣保事業推進協会理事長)

らいねん ねん すみよし ちく おお ふしめ
来年、2026年は、住吉地区にとって大きな節目の
とし あ ぶらくかいほうどうめいおおさか ふ れんごうかいすみよし
年に当たります。部落解放同盟大阪府連合会住吉
し ぶ けっせい ねん すみよしりん ぼ じ ぎょうすいしん せん た
支部が結成されて 70年、住吉隣保事業推進センタ
ー(すみよし隣保館 寿)が開設されて 10年になる
からです。

こうした おお ふしめ とし まえ かくほうめん すみ
こうした大きな節目の年を前にして、各方面から住
よし ちく じんけん ちゅうもく あつ
吉地区における人権のまちづくりが注目を集め、さま
ざまな角度から紹介されるようになってきました。たと
え かくど しょうかい
えば、去る 8月1日には、NHKがドキュメンタリー番
ぐみ ほこ ぶらくもんだい ねん ほうえい
組『誇りうるもの〜部落問題の 100年〜』を放映しま
すが、このなかで住吉地区の取り組みが「番組の背
ぼね とお お こ
骨を通す」ように織り込まれていました。

また、9月1日に発
かん けんちく じゃ
刊された『建築ジャ
ーナル』では、「差
べつ じんけん ち いき おおさか
別・人権・地域 大阪
すみよし ちく はっしん
住吉地区は発信す
る」と題した特集を
く 組んでいます。

さらに、関西大学
じんけんもんだいけんきゅう き
『人権問題研究紀

よう だい ごう ねん がつ おかもとこうすけ いっぱんしゃ
要』第90号(2025年8月)では、岡本介介(一般社
だんほうじんたうんす ペーす ぎょうむしつこうり じん
団法人タウンスペース WAKWAK 業務執行理事兼
事務局 長)さんが「マイノリティ地域における社会的
ほうせつがた い こう れきし てきやうそう ひ き べつ ぶ
包摂型まちづくり移行への歴史的様相―被差別部



らく ふく ちく じっせん じ れいけんきゅう けいさい
落を含む4地区の実践事例研究―」を掲載しておら
れますが、このなかでも住吉地区の人権のまちづくり
がとりあげられています。

これらは、すみよし ちく じんけん おお
これらは、住吉地区での人権のまちづくりを多くの
かたがた り かい こん ご すみよし ちく
方々に理解していただくとともに、今後の住吉地区で
のとりくみにも大いに役立つものです。このため、今号
から 3回にわけてそれぞれの内容の概要と重要だと
おも 思われることがらについて触れてみたいと思います。

えぬえい ちけー どき ゆめん たりー ばんぐみ NHKドキュメンタリー番組

『誇りうるもの〜部落問題の 100年〜』
さ がつ にち ご ご じ じ ぶん
去る 8月1日午後10時から 11時12分まで
えぬえい ちけー おおさか ほうそうきょく さくせい どき ゆめん たりー ばんぐみ ほこ
NHK大阪放送局作成のドキュメンタリー番組『誇
りうるもの〜部落問題の 100年〜』が放映されました。
ばんぐみ しょうかい よみうりしんぶん がつ にちごう ゆうかん
この番組を紹介した読売新聞8月1日号の夕刊では、
ことし どうきょく ぜんしん ら じ おほうそう かいし
「今年は同局の前身がラジオ放送を開始して 100
ねん め ふしめ ち いき ね ざ ほうそうきょく ぶらくもんだい
年目の節目。地域に根差した放送局として部落問題
けいぞくてき と あ あゆ いま
を継続的に取り上げてきた歩みをふりかえり、未だに
の こ か だい み しょうかい
残る課題を見つめる」と紹介していました。

ひっしや ばんぐみ とうじつ びで おと
筆者は、この番組を当日とビデオ撮りをしたもの
かい み えぬえい ちけー と く ぶ
2回見ました。NHKがこれまで取り組んできた部
らくもんだい かん えいぞう つか ぶらく れきし ぶらくかいほう
落問題に関する映像を使い、部落の歴史、部落解放
うんどう あゆ ぶらく さ べつ あらわ ぶらく きょういく ぶん か
運動の歩み、部落差別の現れ、部落の教育や文化、
し ごと さんぎょう こんにちてき か だい お こ
仕事や産業、さらには今日的な課題などが織り込ま
れていて、多くの人びとに部落問題を理解していただ
くために大いに役立つ番組であったと思っています。



インタビューに答える大川恵美子さん

とりわけ印象に残った場面としては、全国水平社の創立大会に参加された米田富さんや阪本清一郎さんの証言、広島島の作田晃さんらの就職差別の告発、長野の深井一美さんによる差別戒名が刻まれた墓石への取り組み紹介、徳島の中内正子さんらによる阿波木偶箱まわしの復活、兵庫県姫路の化学薬品を使わない伝統的な皮革製造にたずさわる大崎哲生さんの仕事ぶりなどがあります。

以上紹介したようにこの番組は、部落問題を多面的な角度から捉えて編成されていますが、住吉地区でのとりくみが「番組の背骨を通す」（森下光泰ディレクターの言葉）ように織り込まれています。具体的に、劣悪な住宅状況を改善し6号館・7号館の建設を実現したことや生協活動にとりくんだこと（大川恵美子さんが登場）、識字活動（輪読会）を継続し部落解放文学賞の受賞に喜ぶ受賞者の姿（米田サ



子どもの居場所事業に関わるメンバー

ヨさんや木本久枝さんが登場）、仕事保障の取り組みによって保育所の給食調理員として働く姿、さらには、住吉隣保事業推進センター（すみよし隣保館 寿）で、子ども食堂にとりくむ若者の話し合い（友永健吾さんや藤本真帆さんらが登場）などです。

とりわけ、この番組の最後に、子ども食堂にとりくむ若者の話し合いの場面が出てきますが、部落出身の若者と部落外の若者が連携して子ども食堂に取り組んでいること、今日の部落差別をテーマに語り合っている場面は、この番組をご覧になった多くの方にこれまでになく感動を与えたのではないかと思います。

近年、インターネットの普及に伴い、部落差別を助長拡大するような情報がネット上に氾濫しています。なかには動画が配信されていて、部落解放同盟が中心になって削除を求めた裁判闘争が展開されている現状があります。その反面で、部落差別は今やなくなったとして部落問題に関心をもとうとしない人びとが少なくない実情があります。

このような状況下にあって、NHKによる今回の番組放映は、部落差別の解消推進に役立つ映像があるのだということを雄弁に物語るものとして大きな意義があるのではないのでしょうか。この点に関して、最初に紹介した読売新聞の記事のなかで、森下ディレクターは「差別はタブー化されて隠されているだけで今も終わっていない。結婚で差別される20～30歳代はたくさんいる。配慮しながらも、きちんと可視化するのが僕たちに仕事だと思う」と語っておられますが、マスコミ関係者のなかから第二、第三の森下さんの登場を期待したいと思います。

なお、この番組は全国放映でなく近畿地方限定での放映でしたが、ぜひとも全国放映を願いたいものです。

すみよしりん ぼ じ ぎょうすいしんきょうかい
住吉隣保事業推進協会のうごき

き ふ れい
ご寄付のお礼

2025年8月から9月末までにご寄付をいただいたみなさまです。【瀧本宏子さま、共同建設株式会社さま、齋藤直子さま、ご本人の希望により非公表お二人】ご協力に感謝いたします。

ごうけい えん
合計740,000円 (今年度合計: 1,308,000円)

ねん ど き ふ もくひょうきんがく まんえん
【2025年度 寄付目標金額: 150万円】

ご寄付は、公益目的事業の経費、住吉隣保事業推進センターの維持管理に使わせていただきます。ご寄付いただいた方は、税制上の優遇措置を受けられます。寄付額に応じて、個人または法人の所得から一定額が控除されます。事務局にご相談ください。

き ふ ほうほう
【ご寄付の方法】

ぎんこうふりこみ じ おきょく じ さん き ふ
銀行振込、または事務局へご持参ください。ご寄付の際は寄付申込書に必要事項をご記入いただきます。

じ おきょく すみよしりん ぼ じ ぎょうすいしん せん た -
<事務局> 住吉隣保事業推進センター

じゅうしょ おおさか し すみよし く てづかやまがし
住所: 大阪市住吉区帝塚山東 5-6-15

でん わ
電話: 06-6674-3732

ふりきみさきこう ざ
<振込先口座>

おおさかしんようきん こ すみよし し てん みせばんごう
大阪信用金庫 住吉支店 (店番号041)

ふつこう ざ こう ざ ばんごう
普通口座 (口座番号 0115047)

こう ざ めい ぎ こうえきざいだんほうじんすみよしりん ぼ じ ぎょうすいしんきょうかい
口座名義 公益財団法人住吉隣保事業推進協会

さんじょかい いん ぼ しゅう
賛助会員を募集しています！

さんじょかい いん き かん し に ゆ -
賛助会員のみなさまには、機関紙『すみりんニュース』をお送りします。また、当法人主催の指定講座の参加費が半額免除になります。

ねんかい ひ こ じん えん だんたい えん
<年会費> 個人: 3,000円 団体: 10,000円

【申し込み方法】 所定の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、年会費と一緒にご提出ください。

に ゆ - す ぴーでいーえふ とど
すみりんニュースをPDFでお届け

すみりんニュースなどをPDFファイルでお届けできます。ご希望の方は、以下までお知らせください。

★事務局 メールアドレス★

sumiyoshi3731@gmail.com



とうざいだんしゅさい けんきゅうかい かく
当財団主催の研究会や各種生涯学習講座などをホームページでご案内しています！
ぜひ、ご覧ください。



としょしつ じんけんもんだい
図書室には、人権問題にかかわる本や人気のある小説やエッセイなどもあります。
ぜひ、ご来室ください。

かいしつよう び じ かん
【開室曜日・時間】

げつ か もく きんようび ご ご じ ぶん ご ご じ
月・火・木・金曜日午後1時30分から午後5時まで

としょしつ うんえい ぼらん てい あ ささ
※図書室の運営はボランティアのみなさんによって支えられています。臨時に休みになる場合があります。

しょうほう はいしん
情報を配信しています！



ほーむ ペー じ
ホームページ



ふえいすぶつ く
Facebook



いん す た ぐ ら む
Instagram



ゆーチュー ぶ
Youtube